

●今号の主な内容

12 月定例会のあらまし…2~4

町の考えを問う 一般質問 8 議員が登壇…6~13

先進地に学ぶ………14~16

クローズアップ 議員紹介……17 皆さんからのご意見/ふるさとへの便り50…18~19

●今号の表紙/まちの笑顔シリーズ 「七ツ森小学校放課後児童クラブ (もりもりクラブ)」

## 12月定例会のあらまし

## 議員定数4減の16人とする 条例改正を可決



議員定数の改正は全員賛成で可決された

平成 24 年度 12 月定例会は、12 月 7 日から 14 日までの 8 日間の会期で行われました。

本定例会では承認案件が1件、条例関連の案件が4件、補正予算案件が7件、同意案件が2件、 発議案件が1件、その他案件が1件あり、これらの計16件の案件はすべて原案通り可決・同意しま した。

また次回選挙より、議員定数 20 人から 4 減の 16 人にする「雫石町議会の議員の定数を定める条例の一部改正」を議員発議により可決しました。

一般質問は、8名が登壇し、町当局の考えをただしました。

## 条例関係

○零石町水道事業の剰余金の処分等に関する条例の制定 地域主権改革一括法の制定に伴う地方公営企業法の改 正により、水道事業の利益および資本剰余金の処分等を 条例で定める必要が生じたため本条例を制定

## ○ 雫石町水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並 びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定

地域主権改革一括法の制定に伴う水道法の改正により、水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに 水道技術管理者の資格基準を条例で定める必要が生じた ため本条例を制定

## ○雫石町下水道条例の一部改正

地域主権改革一括法の制定に伴う下水道法の改正により、公共下水道の構造の技術上の基準について条例で定める必要が生じたため本条例の一部を改正

## 一般会計補正予算(主なもの)

## ○一般会計補正予算(第4号)

補正前の額	補正額	計					
82億5981万8千円	1億3411万1千円	83億9392万9千円					

▶役場庁舎空調設備改修工事

▶障害者自立支援給付費(増)

▶いわて型牧草地再生対策事業費補助金

▶農地集積協力金(増)

▶七ツ森放課後児童クラブトイレ改修工事

▶騒音測定業務委託料

6621万3千円 2460万8千円

1692万2千円

1070万0千円

160万3千円

97万7千円

## 主な質疑

問 騒音測定業務委託は川井林業の騒音測定と思うが 低周波音も調査するのか。

問 障害者自立支援給付費(増)はなぜこの時期に出てくるのか。当初予算で大枠を見込むべき。

利用者の増や当初予算計上を必要額の8、9割程度としたことなどによるもので、25年度は当初予算で実績を考慮し、大枠を計上するようにしていきたい。

農地集積に係る件で、農業経営は個人経営が主体 であるべきと考えていた。しかし、現実には第三セ クターを含む団体組織をつくり、耕作放棄地などに 対処する時期にきているのでは。

今後、担い手が少なくなり農地集積が進む中で、 環境保全型農業を何かしらの組織に請け負ってもら うなど考慮しなければ、用排水、道路、景観整備な どに問題が生じることを念頭に考えていきたい。

いわて型の牧草地再生対策事業は、他自治体の人 が所有または借り入れている牧草地にも適用される のか。また、県全体として取り組むべきと進言して もらいたい。

属地の市町村でも取り組むということなので、草 地再生ができると考えている。なお、県全体として 取り組むべきという件は、県に働きかけていく。



農地集積は環境保全への配慮も必要

いわて雪まつりキッズプロジェクトは、継続して いくのか。

被災地沿岸の小中学生を雪まつりに招待するもので、県から50%の助成がある。継続については、 財政事情にもよるが、さまざまな形で被災地支援を していきたい。



県内の一大イベントであるいわて雪まつり

## 特別会計補正予算(主なもの)

○下水道事業特別会計補正予算(第2号)

補正前の額	補正額	計					
9億4337万7千円	203万6千円	9億4541万3千円					

▶上水道管移設補償費(増)

165万7千円

## 人事

○ 雫石町固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意 を求めることについて

氏名 **仁佐瀬 \*進** 氏 (54 歳、滝沢村大釜在住)

氏名 **藻場 弘貴** 氏 (48歳、中町一・二行政区在住)

## ○人権擁護委員候補者の推薦に係る議会の意見について

平成25年3月31日をもって任期満了となる人権 擁護委員の再任者として、3名の候補者の推せんについ て意見を求められましたが、それぞれ適任とする答申を しました。(任命は法務大臣が行います。)

氏名 小田 勝 氏 (69歳、上春木場行政区在住)再任

氏名 林 秀一郎 氏 (64 歳、駅前行政区在住) 再任

氏名 **藤原 恒子** 氏 (71 歳、六区行政区在住) 再任

## 発 議

○雫石町議会の定数を定める条例の一部改正

議会の議員定数を「20人」から「16人」に改める。

## 平成 24 年第 8 回雫石町議会定例会(12 月定例会) 議決結果等一覧

会期:12月7日(金)~12月14日(金)

議案等番 号	議員名	田屋舘愛子	幅秀哉	岩持 清美	山崎留美子	加藤 眞純	杉澤 敏明	川口一男	前田 隆雄	西田 征洋	谷地 善和	村田 厚生	田中 栄一	大村 昭東	上野三四二	坂下 栄一	坊屋鋪俊一	平子 忠雄	煙山惣右衛	石亀	採決結果
承 認 第 1 号	議案名 平成24年度雫石町一般会計補正予算 (第3号)の専決処分に関し承認を求め ることについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	欠	0	可決
議 案 第 1 号	雫石町水道事業の剰余金の処分等に関 する条例の制定について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	欠	0	可決
議 案 第 2 号	零石町水道布設工事監督者の配置基準 及び資格基準並びに水道技術管理者の 資格基準に関する条例の制定について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	欠	0	可決
議 案 第 3 号	雫石町下水道条例の一部改正について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	欠	0	可決
議 案 第 4 号	平成24年度雫石町一般会計補正予算 (第4号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	欠		可決
議 案 第 5 号	平成24年度雫石町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	欠	0	可決
議 案 第 6 号	平成24年度雫石町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	欠		可決
議 案 第7号	平成24年度雫石町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	欠	0	可決
議 案 第 8 号	平成 24 年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計補正予算 (第1号)	0	0	0	0	0	0	0	0	•	0	0	0	0	0	0	0	0	欠	0	可決
議 案 第 9 号	平成24年度雫石町立雫石診療所特別会計補正予算(第2号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	欠	0	可決
議 案 第10号	平成 24 年度雫石町水道事業会計補正予 算 (第 1 号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	欠		可決
同 意 第 1 号	零石町固定資産評価委員の選任に関し 同意を求めることについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	欠	0	可決
同 意 第 2 号	零石町固定資産評価委員の選任に関し 同意を求めることについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	欠	0	可決
発 第1号	零石町議会の議員の定数を定める条例 の一部改正について	0	0	0	0	0	0	0	0	退	0	0	0	0	0	0	0	0	欠	0	可決

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 退…退室 ※猿子議長は採決には加わりません

## 題を紹介します



## \*\*チャリティショーに 参加しました\*\*

毎年年末に開催される歳末たすけあいチャリティー ショーに参加しました。

今回は、12月2日に開催され、七ツ森保育所の園児 たちと共演しました。園児たちのかわいらしい演技に、 議員よりも園児に注目がいってしまいましたが、議員と 孫のような園児との共演に会場は和やかな雰囲気に包ま れました。

## ■議会改革特別委員会 その6

各小委員会の検討を終了した調査事項について協 議がなされ、改革に向けた取り組み事項を新たに追 加しました。

## 第 10 回特別委員会(全体会、H24.12.4開催) ○傍聴規則の見直しについて

傍聴を制限する事項を緩和するとともに、携帯 電話のマナーについて新たに規定することとした (平成 25 年から施行)。

## 第 11 回特別委員会(全体会、H24.12.13開催)

## ○住民と議会との懇談会の開催について

今年度試行実施した「議会と住民との懇談会」 は、今後正式名称を「住民と議会との懇談会」と して、平成25年度から、年1回以上行うこと とした。



町議会初の試みとして昨年8月に行われた懇談会の様子

## ○休日・夜間議会の開催について

アンケート調査の結果が「今までどおりの平日 の日中でよい」との回答が多かったことから、現 状のままとすることとした。

昨年8月下旬に試行実施した「議会と住民との 懇談会! で要望のあった地域課題等のうち、議会で の調査や質疑を通じて、これまでに明らかになった 主な事項は次のとおりです。

- ●南田圃周辺の雫石川河床が高くなり、水田や住 宅への洪水の心配がある。議会として現状を調 査してほしい。
  - →平成24年9月13日、産業建設常任委 員会で現地調査を実施した。調査時には、河床 の掘り下げがなされていた。

- ●新聞の慶弔欄に、土日も掲載してほしい。
  - →平成25年から掲載する。
- ●銀河ステーションの産直営業時間を、もっと利 用できる時間帯となるよう検討してほしい。
  - →以前は、午後7時まで営業していたが、 売り上げに比べ費用がかさむ(販売員2人体 制にする必要があり、人件費増となる)ため、 販売員 1 人で対応可能な現在の営業時間とし ている。



現地を調査する産業建設常任委員



営業時間と経費のバランスが難しい駅の産直



質問者/ 西田征洋 議員



## いわて型牧草地再生対策事業に農家の生の声を

## 町長/町として要望は県に伝える

県の「いわて型牧草地再生対策事 業」は、放射性物質の低減と風評被害対 策として取り組むもので、農家の強い要 請もあり参加を決めたことに敬意を表す る。この際、農家が他市町村の牧草地を 耕作している場合、その農家が属してい る市町村の事業として取り組めるよう県 と検討することが必要ではないかという 声がある。

町長 本事業は、議員指摘の目的で本 年9月に創設したもので、マニュアル通 りの作業をしたものに適用され、費用は 県 1/2、市町村 1/2 で農家負担はゼロと いうもの。

農林課長 この事業は、基本的に農地 がある市町村の事業になっているが、県 に農家の要望を伝えたい。

問 県としても初の事業として県内に 広く普及したいと考えているわけだか ら、対象者が利用しやすいやり方にする よう県と協議すべきである。

## シイタケの補償問題と栽培農家への直接応援を

問現在、シイタケ生産農家への東電 からの補償は請求金額の半分と言われ る。全額請求しているか。またキノコ用 チップ製造機械を町として導入し、より 農家の安心・安全を図れないか。

町長 東電からは12月中に残り半分 を支払う旨の連絡があったので、それを 見守りたい。またキノコ用チップ機械の

件については、現在の菌床用チップ供給 のやり方が安全なことから今後とも導入 をしない方針である。

問 実際に苦しんでいる現場の声を聞 かなくては問題点の把握が的確にならな いことを指摘しておきたい。

## 国保税過年度分の分納問題は

問 ある町民が、国保税の納税につい て町と相談し、分納することで合意し一 定額を納めてきた。ところが、当人によ ればいきなり滞納差押えをされたと言っ ているが。

税務課長 それ相応の財産があったこ とで虚偽事実として処分したものである。 問 納税者と町の信頼関係を損なう行 為だと思う。処分する前に文書を添えて 具体的に返済計画例などを示しながら相 談、説得することが不可欠で、その人た ちの気持ちに寄り添う、心配りある行政 であるべきだ。



雫石の牛は安全です

問 今回の町民意識調査結 果を今後の町政にどのように 反映させていくのか。

町長 調査結果の傾向に応 じて総合計画実施計画の見直 しを行い、第二次総合計画を 着実に推進していく。また、 実施を検討している事項等に ついても調査結果を今後の検 討の基礎資料として活用して 12 CV

問 町長公約の小学校区程 度の自治組織設置の調査項目 があるが、「わからない」が 34%、「今のところは必要な いと思う」が22.5% などと なっているが、町長の所見は。 町長 調査結果は、きちん と私の認識として収めておき たい。

企画財政課長 庁内プロジェ クトチームを設置し、調査し た結果も同様の傾向が出てい る。自治組織を今すぐ設ける ことは、まだ住民の考えには なっていないが、今後、行政 区単位での活動は非常に厳し くなる部分も出てくるという 認識は持たれている。

## ■他にこんな質問もしました

- ・前回の町民意識調査と比 べ、どのような特長や違 いなどが出ているのか
- ・平成24年度各課設定重点 事務事業の中間評価結果 について
- ・雫石町総合計画推進モデ ルプロジェクトの現時点 での評価について

## 新しい要素を取り入れた施策 評価とは

問 施策評価が、いまだに 公表されていないが、どうし てか。

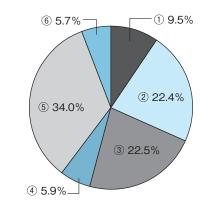
町長 今回から新たに施策 の利害関係団体等を対象に、 外部評価として利害関係者調 査を実施しているので、この 調査結果と併せて公表する。

## 観光大使の活動状況は

問 観光大使は、どのよう なことをしているのか。町民 に分かるようにしてもらいた 11

観光商工課長観光大使の 名刺を持っていただいている ので、各大使は出張のときな どに配って PR している。ま た、雫石に人を連れてきてい ただいている。こういったこ とを町民にも分かるようにし たい。

## 「小学校区ごとの自治区について」 の調査結果



- ① なるべく早く必要だと思う
- ② 必要だと思うが急ぐ必要はないと思う
- ③ 今のところ必要ないと思う
- ④ 今後も含めて必要ないと思う
- ⑤ わからない
- ⑥ 無回答

出典:町民意識調査結果まとめ

調査よりも今は、具体的推進施策の 磨き上げの方が重要だ。事業執行 しないと何も変わらないぞ。

チョット ひとりごと

町



杉澤は質問者 議

こ

こ

ガ゛

聞

き

Œ

LI

般

質

問

**カ**ï

聞

₹

た

Lι

.

\_

般

質

問



質問者/ おおむらしょうとう 大村昭東 議員 ・質問にしっかり答えてほしい ・内部監査やコンプライアンス体制 を築くべき

チョット ひとりごと

## 町予算5%相当の地域通貨を発行しては

## 町長/町の経済活動は危機的状況には全くない

## 雫石町の緊急・重要な政策課題は

問 本町の緊急重要な政策課題は、人口激減対策、自殺者・離別者対策、独居老人予備軍対策、隠れ負債対策、子どもの学力向上対策、生活環境整備対策と認識しているが、町はどのように認識し行動しているか。

町長 少子高齢化など重要な課題があると考えており、「みんなが主役誇らしく心豊かなまちづくり」へ向け取り組みを着実に進める。

問 議員の行う質問、質疑、討論の一言一句は、とりもなおさず住民の意見であり、住民の声であり、同時に住民の疑問であるが、これを町はどう受け止め対処しているか。

副町長 それぞれ真摯に受け止め、速 やかに対処すべく担当課で検討を進めて いる。

問 総合計画推進モデルプロジェクトなどの業務推進の諸手続き、諸業務遂行上のトラブル、民地の無断使用など、地方自治法のみならず、独占禁止法、その他の法律に抵触することなきようにするためのコンプライアンス(法令遵守)への取り組みはどうなっているか。

町長 諸手続きについて何が問題なの か具体的に示してほしい。

問 行政組織内部のコンプライアンス、内部監査体制をしっかりと築いて、法に基づいて当たり前のことを当たり前にやるべき、と申し上げ次の質問に入る。町の農林業、商工業、観光業、サービス業など産業の振興を図るため、紙幣タイプの地域通貨を発行し、町予算の5%相

当をこの地域通貨で支払うという政策を調査研究してはどうか。

町長 一つの提案であるので検討はし てみたいが、町の経済活動はそんなに危 機的状況には全くないと認識している。

## 農業指導センターのあり方は

問 農業を基幹産業とする当町にとって、農林業を振興して安定した所得を確保し、農家・農村集落を元気にすることがまちづくりの基本であるが、その核となるべき農業指導センターを今後どのようなイノベーション(新機軸)で改革改善するのか。

町長 農業者の生産意欲、生産技術が 向上するよう支援活動を継続する。

問 滝沢村の市制移行について、ある 新聞に「隣接町として密接な連携を取っ ていきたい」とコメントしているが、農 林関係でどのような政策を連携実行する のか。

農林課長 草地の再生利用事業を同じような姿勢で取り組むべく調整している。 問 滝沢村の市制移行を当町農業振興の絶好の機会ととらえ、県と雫石町と滝沢市の共同事業として滝沢雫石農業改良普及センターの設置を政策として実行すべきではないか。

農林課長 滝沢村との連携による農業 振興は大変良いことだと思われる。

問 農業指導センターの技術員に一般 事務のような仕事をやらせるのであれ ば、農林課の臨時職員として農林課に配 置すべきである、ということを申し上げ 私の質問を終わる。 問 水道整備率 100% 達成 については、現段階で 3 行政 区が未整備であり、その内、 平成 25 年度は大村地区が整 備に入り、残るは 2 行政区と 認識している。町民への生活 面、施設面でのサービスの地 域格差は、早期に解消すべき と考えるが町長の考えを伺い たい。

町長 現在、水道の未普及地域は、大村地区、矢櫃地区、 上野沢地区である。大村地区は岩手県の中山間地域総合整備事業により、平成29年度末に完了見込みで進めていく。

矢櫃地区は近いうちに意向 調査を実施し、平成25年度 はそれを基に基本計画を策定 するため、現地調査の実施を 考えている。

上野沢地区は現在、地区からの要望は無いが、平成25年度に住民からの聞き取り調査を実施したい。

問 矢櫃、上野沢地区は一 軒一軒が離れ採算の合わない 事業であることを、私も歩水 であることを、私も下水道 関一同が頑張り、剰ま会しい。 親員一にないられる。上下水道 出しなに今だからやがらが発生である。 う。今から50年前、安発生した。 海き水を利用した井庭が原因で赤瀬されたの当時、出しが原因で隔離された思い出感した。 にび隔離された思い出感した。 はあると実に入れる。 れる。 ないる考えはあるのか。

上下水道課長 今回のビジョンは8年間、平成31年までで、実現可能な大村地区の分を入れて整備率98%にしたものである。未普及地域の矢櫃、上野沢地域とも、意向調査を住民皆さんの意見を聞きながら実施していく。整備率100%に近づけるよう努力していく。



水道の未普及地域である矢櫃地区

■他にこんな質問もしました ・雫石診療所の経営のあり方 水道にしろ舗装にしろ 日常生活圏を優先し、 地域格差の無いように…

チョット ひとりごと

町

長



川口一男 議員質問者/

こ

こ

זכל

聞

き

た

LI

## 水道整

## 整備率100%を早期

般

質

E

ح

カ゛

聞

₹

た

LΙ

.

\_

般

質

質問者/ うゎ の み ょ じ 上野三四二 議員 「みんなが主役…のまち」と言うが、 インフラ整備も地域格差が大きい。 将来像が見える町づくりを。

ひとりこと

## 日赤鶯鳴荘の移転先は

## 町長/要望に沿えるよう検討し年度内に回答

問 特養老人ホーム日赤鶯鳴荘は、昭和54年5月開所から34年間、公益性・公共性の高い高齢者福祉施設として地元福祉に大きく貢献してきた。町民の入所希望・待機者も70~80人いると言われている。同施設は老朽化しており、また新設の場合は個室、ユニット型が求められ、今の土地では敷地不足のため移転を検討していると聞く。近隣町有地を移転候補地として要望しているようだが、対応について聞きたい。

町長 南畑小学校東側の町有地の一部 約1万5千㎡について無償貸し付けの 要請を受けている。周辺一帯の活用に支 障がないか、他の町有地の活用はどうか、 無償貸し付けの妥当性などを検討してい る。約8割が町民の利用者であることか ら、町内に留まってもらうためにも、要 望に沿えるよう配慮して検討を重ね、24 年度末までには回答したいと考えている。

## 深谷町政任期折り返しの重要施策の推進は

問 深谷町政は前期2年間、思わぬ東日本大震災の対応をはじめ、厳しい社会情勢を乗り越えながら任期折り返しとなった。町民と約束の諸施策を実現するには、アクセルを踏みスピードを速めなければ実現が難しいと思われる。後期2カ年の重要施策をどのような行程で進めるか。

町長 基本的には、環境、教育、福祉、 産業、安心・安全の五つを第二次町総合 計画前期基本計画および個別の分野計画 に反映させ、特に重要な施策は毎年度の 重点事業に掲げ推進している。これに総 合計画推進モデルプロジェクトを加えた 六つの項目を進める。毎年見直しを行い、 政策評価の手法により課題の検討をして 進めていく。

## 片子沢―外舛沢間の危険区域の 改良工事促進を

問 町道外舛沢線は幅員も狭くカーブも多い。ましてや欄干のない橋が今もある。山間遠隔地にまったく行政の目が届いていない。事故も頻繁に発生している。 危険な道路にもかかわらず放置の状況には町の姿勢を疑う。改良の見通しはどうか。

町長 起点から、一部1.3km まではままで 2車線にしているが、残りは1車線で狭窄区間となっており、改良から相当年数 も経過している。整備するためには多額 の費用を要するため、引き続きコスト低減と財源確保に努めながら優先度合など 勘案し整備促進を図っていく。

問 県の報告によると、県 内の通学路のうち危険箇所 1,101 カ所、安全対策が必要 な箇所554カ所あるが、当町 内に該当するところがある か。通学路整備状況はどう なっているか。

町長 町内の小学校より23 カ所の危険要注意箇所の報告 を受けた。その後、現地調査 を行い、それぞれの関係機関 (国道管理事務所、県、公安 委員会)に対して改善要請を 行っている。

道路整備については主に歩 道整備を行い、幹線道路等主 要な道路はおおむね整備は完 了している。歩道のない通学 路については、標識等で安全 確保を図っている。

問 冬期間、歩道のない通 学路は道幅も狭くなり、危険 度は高まる。安全対策をどの ように考え実行するのか。

学校教育課長 直接教育委 員会が指導することはない。 除雪は学校にお願いしている が、特に難しい場合は担当課 を通じ排雪を行っている。当 然、子どもたちには注意して 登下校するよう学校から安全 指導を行ってもらっている。

■他にこんな質問もしました

## 空き家の実態は

問 2008 年に総務省が行っ た空き家率は13.1%となっ ている。全国的な傾向として 空き家になっている建築物に ついて、防犯防災や景観の観 点から問題となっている。本 町の空き家の実態について調 査は行っているか。

町長居住、利用の有無な ど建築物の使用状況について データは収集しておらず、空 き家がどの程度存在している か資料はない。基本的に建築 物の管理は所有者の責任にお いて適切に行われるべきであ る。

間 豪雪地帯の空き家対策 として、地方自治体が除雪し たり倒壊の危険がある家屋を 取り壊す経費を国が支援する 制度があるが、町として取り 組むのか。

副町長 具体的な空き家の 実態を調査する前段階とし て、把握方法の検討から始め たい。

間 雫石町としても事業に 取り組むべきである。スピー ド感を持って町政の運営に当 たるよう望む。



車がすれ違うのもやっとの役場前の道路

通学途中で事が起きてからでは遅い。 もっと当事者意識が 必要ではないか。

チョット ひとりごと

町

長

23



岩っ質問者 議 員

こ

こ

ガ゛

聞

き

Œ

LI

般

質

・西山診療所閉鎖のその後は · 町有未利用地活用対策

※23 の危険箇所は1月より町のHPで公表予定となっています。

問

ح

*ז*ל

聞

₹

た

LI

.

\_

般

質



質問者/ には ひでや 幅 秀哉 議員 お医者さんも高齢化! どうなるの雫石の医療は?

シンとりごと

## モデルプロジェクトの具体的取り組みを示せ

## 町長/7プロジェクト中、二つを先行進行

問 総合計画推進モデルプロジェクト の25年度の具体的推進の内容とそれに 要する金額を示せ。

町長 このプロジェクトは、着手可能なものを順次先行実施するプロジェクト 先導型まちづくり方式である。地域資源の価値を顕在化する雫石型自然環境創造プロジェクトと地域ごとの医療福祉の体制を作る医療福祉ネットワーク強化プロジェクトの二つを職員と早稲田大学とで実施に向け具体的検討を始める。

## 医療・福祉機関との緊急時の連携はあるか

問 町内の医療・福祉施設との緊急時の具体的対応方法や防災・減災対策はあるか。

町長 地域防災計画において、災害が 発生する恐れのある場合または発生した 場合に災害警戒本部、災害対策本部を設 置する。町と民間の医療・福祉機関との 連携は、福祉部門で施設の被害調査・応 急対策に関すること、生活必需品・応急 対策用物資の調達・確保・供給に関する こと、保健医療部門では施設の被害調 査・応急対策に関すること、応急医療の 総合調達に関することを規定している。 連携や支援の具体的内容は災害の種類、 規模により異なるため定めていない。

## プロジェクトチームの長期継続は可能か

問 プロジェクトを遂行するに当たり、そのチームをある程度長い期間継続して取り組ませてはどうか。

町長 職員のプロジェクト体制は人材 を判断して選んでいるので、人事異動も あるが、こだわらず長期継続の体制でいく。



町の将来像について研究成果を発表する学生

■他にこんな質問もしました

- ・防災無線の改善は
- ・西山診療所閉院の善後策は

問 社会的排除のリスクが 高まり、生きにくい、暮らし にくいという人たちが急増し ている。どんな人のどんな悩 みにも寄り添って一緒に解決 しましょうと始まった厚労省 のワンストップ支援事業の 「よりそいホットライン」は、 あまり知られていないが、4 月から9月までの間、岩手県 が 127.218 件と最もアクセス が多かった。当町での取組み はどうか。

町長 多面的な相談に応え られる包括的な支援の取り組 みと捉えている。9月に開設 した総合相談所は今までより 多くの相談者が来たので、開 設回数を増やすなど住民の支 援に務めたい。自殺対策にお いても効果あると思われるの で機会を捉えて啓発していき たい。

問 町内でも生活困窮を訴 える方が段階的に増加してき ている。生活福祉資金の活用 制度があるが、聞き取り調査 では制度自体を知らない方が 多数いた。周知と活用策を伺 う。

町長 この貸付制度を利用 できるのは、低所得者や障害 者、高齢者や生活保護を受給 している世帯で、平成22年 度は26件で1,604万2,852 円、平成23年度は30件で 844 万円の実績がある。各地 区民生児童委員活動の中で制 度の紹介を行っているほか、 福祉課窓口へ生活保護の申請 や生活困窮などの相談に来庁 された方々へ紹介している。

## 診療所の体制と整備は

問 常勤医師2名体制につ いて見通しが立っていない が、その後進展は。

町長 県医療局の医師支援 活動の中で医師を探していた だけることになり、勤務希望 のある情報が2件ある。他に も1件の打診をいただいてい るので慎重に対応していく。

問 町内の医師が、当番医 として診療所に出向いて診療 するなど、町と連携できない か。

町長 開業医の先生方に相 談したら、雫石診療所内で当 番医に当たるという貴重な提 言があった。平成25年度か ら実施したい。

## 20-279-338



よりそいホットラインは24時間通話無料でかけられます

寒い冬、灯油代が気にかかるよね。 除雪費用も。

北国寒冷地ハンディ税とかできて、 町に還元されたらうれしいけどな。

チョット ひとりごと



山崎智問者

こ

こ

ガ゛

聞

き

Œ

LI

## 員

## 町

般

質

問

## 先達地世界水

~行政視察リポート

## 総務常任委員会

10月23日から25日まで、次のとおり所管に関わ る調査を行いました。(参加者:谷地委員長、村田委員、 石亀委員、西田委員、杉澤委員、岩持委員)

- (1) 雲仙普賢岳噴火災害と地域防災(長崎県島原市)
- (2) 老朽危険空き家状況と対策 (長崎県長崎市、佐世保市)
- (3) 全国和牛能力共進会出品者激励(長崎県佐世保市)

## 【島原市】噴火被害額 2.300 億円

雲仙普賢岳の噴火活動は、平成2年11月に始まり、 平成3年6月3日には、大火砕流が発生し、43人も の尊い命を奪い、家屋被害 2.511 棟、避難者最大時 7,208人、被害総額2,300億円にも上りました。

島原市では平成4年を復興元年と位置づけ、復興計 画を策定し355もの事業を掲げ、現在までの総事業費 3,000 億円を超えるものとなっており、スピーディー な復興が果たされています。

防災対策は、市防災会議を中心に各関係機関との相 互連携や情報収集体制が整備され、移動系無線、屋外 スピーカー、各戸に配置された個別受信機による防災 行政無線の整備が行き届いていました。町内会、自主 防災活動の取り組みがしっかりしているとのことでし た。

本町においても防災への取り組みは、自主防災会の 全町整備、防災行政無線の個別受信機をできるだけ多 く整備し、立ち入り規制等は迅速、厳密に行うことな どが必要と感じました。



普賢岳を望みながら

## 【長崎市、佐世保市】老朽危険空き家除去費を補助

長崎市、佐世保市、平戸市の3市では、民間住宅の 空き家解体の際、工事費の一部を補助する制度を設け ています。

長崎市は上限が50万円として対象事業費の1/2を 補助、佐世保市は上限は60万円でした。佐世保市で は60件の予定に対し、96件の申し込みがあったとの ことです。

当町への助言として、まず空き家の調査が必要で、 危険度の査定、定住移住に使用可能物件の把握がス タートとのことでした。当町は雪も多く、放置すれば

倒壊等も考 えられます ので、対策 は急務であ ると感じま した。



佐世保市役所にて

## 【佐世保市】町内出品者を激励

全国和牛能力共進会の会場である佐世保市ハウステ ンボスを訪れ、開会式を見学した後、岩手県のブース 前で行われた岩手県協賛会の激励会に参加しました。 町内出品者の村田統悦さん、八丁野賢一さんの牛を見 学(肥育部門の坂井尚樹さんは別会場)して応援激励 し、出品者の皆さんからは感謝の言葉があり、共進会 にかける意気込みを強く感じることができました。ま た、深谷町長、猿子議長も別日程で激励に訪れており、 後日、岩手県 JA 関係者より県内どの市町村より対応

がよかった と伝えられ ました。



会場(ハウステンボス)にて

## 教育民生常任委員会

2012年10月10日から12日まで、次のとおり所管 に関わる調査を行いました。(参加者:加藤委員長、 山崎委員、煙山委員、平子委員、坂下委員、上野委員、 幅委員)

- (1) 障がい児福祉について (静岡県掛川市)
- (2) スポーツ振興について(静岡県三島市)
- (3) 高齢者福祉について (静岡県伊豆市)

【掛川市】 日本で最初 の肢体不自 由養護施設 「ねむの木 学園」



設立45年 の学園は、

茶道室にて

家庭での養育が困難な子や、行くところのない子ども たちのために「家」を作るところからスタートしたも のです。成人した後でも住む事ができ、自立した生活 が送れるよう芸術や文化活動に力を注いでいます。「ど んぐり美術館 | では作品の展示や販売も行われ、学び の中で生産活動が実践されています。① 18 歳以下は 障害者自立支援法により措置費で賄われているが、19 歳であっても保護者の事情により年措置費対応もあ る。②措置費は地方分権により負担は市と町③20歳 からは障がい者基礎年金が給付され、入所者と「園」 の契約に切り替わり入所費として49.285円。通園費 一月6~7万円。

## 【三島市】スポーツ振興は「健康推進部」から

教育委員 会の所管 だったス ポーツ振興 が、健康推 進部に移行 した理由や 目的などの



三島市役所にて

説明を受けました。①平成17年度から体育施設の指 定管理者制度の導入。施設一括で管理者を選定し、現 在三期目。②体育協会には年間241万円の補助があり、 健康推進員の確保は体育協会が中心となっている。他 22団体に対し1団体あたり7万円の助成。③高齢者 への介護予防として健康維持に結びつくプログラムを 依頼。④単発のメニューより複合型が好評。⑤施設の 予約をインターネット上で行える予約システムの導入 を検討中。

## ●指定管理者の導入でどう変わった?

公募で決定した管理者はエネルギーや空調関連のア ズビル(株)という会社。メリットとデメリットを伺い ました。

メリットは、①トレーニングルームに指導員を配置 ②ポイントカードシステムの導入(H21)③プレゼン トが当たるお楽しみや HP、メルマガ等による情報提 供を率先して行っている。4開館日数の増加で大幅な コストカットができ、年間 5.000 万円の削減達成がで きた。

デメリットは、①休館の際の保証問題や負担割合の 算出がむずかしい。②管理者が変わった時のサービス の維持や専門知識を有する人材の不足で運営経費の試 算が難しい。

## 【伊豆市】 ライフハウス友だち村

経営するのは(株)生活科学運営。自立型の住宅型有 料老人ホームですが、介護度3になると介護型の「シ ニアハウス」への住み替えも可能。①入居一時金とし て一人当り 1.374 万円(約8.5坪)の費用がかかる。 ②管理費として、月63,000円と食費もかかる。福祉 の領域を民間会社が担う難しさがあり、官・学・民の 発想を束ねていく力が必要だと実感します。



レクチャールームにて

## 産業建設常任委員会

11月5日から7日まで、次のとおり所管に関わる 調査を行いました。(参加者:川口委員長、坊屋鋪委員、 田中委員、前田委員、田屋舘委員)

- (1) 宮崎県食品開発センターの企業、食品加工グルー プへの技術支援(宮崎県宮崎市)
- (2) 口蹄疫への防疫体制(宮崎県延岡市)
- (3) 鉄輪(かんなわ)温泉地区まるごと再生 (大分県別府市)

## 【宮崎市】特色のある食品開発技術

宮崎県食品開発センターでは、食品加工分野におけ る技術力向上支援を使命とし、県内産業の振興を図る ため、所長以下研究員・指導員21名を配置していま す。主に食品製造業や加工グループに対する食品加工 技術の研究や技術指導、依頼分析等の業務を行ってお り、特にも焼酎の酵母の開発には力を入れています。 23 年度実績として、技術指導 1,202 件、依頼試験 175 件、設備利用 282 件、巡回企業訪問 146 件でした。



食品開発センターにて

## 【延岡市】徹底した防疫体制

H22年4月20日、口蹄疫県内初の発生を受け、22 日に警戒本部、28日には対策本部を設置しました。 また、自主消毒ポイント2箇所、消毒槽3カ所、消毒マッ ト52カ所を設置し、市内に出入り、通行する車両す べてを消毒しました。さらに散水車による消毒液の散 水など、市が一丸となって取り組みましたが、防疫活 動は職員だけでは対応できず、社会福祉協議会を通し、

80 団体、延べ3.000 人がボランティアとして参加し、 7月27日の「非常事態宣言解除」まで防疫に努め、 延岡市での口蹄疫発生を防いだとのことです。

有事の際は、行政のみの対応では限界があり、住民 と一体となった取り組みが必要であると感じました。



延岡市役所にて

## 【別府市】平日でもにぎわいのある温泉街

おびただしい湯けむりが立ち上がり、豊富な温泉に 恵まれた日本を代表する温泉場ですが、近年の交通事 情の変化や住民の高齢化、街の魅力づくりの弱さ等に より、観光客数が減少して将来に対する危機感を抱い ていたそうです。

平成17年、住民と行政が一体となり「鉄輪地区ま るごと再生5ヵ年計画 | を計画し、事業を実施しまし た。観光交流センターを併設した温泉施設や広場、道 路の石畳等を整備することにより湯けむり散策が楽し めるようになり、観光客が増加し、街全体がにぎわい ある観光拠点としてよみがえりました。温泉観光を標 榜する当町にも、魅力あるまちづくりが必要なことを 改めて実感しました。



湯煙が上がる鉄輪温泉地区

## クター コネスップ アブップ

改選後の新議員をシリーズで紹介します。議席番号5、6、15、16番の4名が 議員としての抱負などを語ります。



今年より写真の相棒が愛犬から孫(2歳)に替わりました

## 次世代のことを念頭に 加藤 眞純 議員(62歳 籬野行政区)

両親をみるため雫石に戻り10年目です。議員は二期目で教育民生委員長、議会広報編集委員長を仰せつかっています。小学校適正配置や読んでもらえる議会広報づくりなど、すべてにおいて次世代のことを念頭に活動してまいります。

妻と犬と猫8匹とで仲良く暮らしております。



御所湖広域公園町場地区園地の桜を植樹

## 信頼される議会を目指して 杉澤 敏明 議員(67歳 九十九沢行政区)

私は、「住民の要望を町政に生かす」を信条とし、 住民と町政とを結び、住みよい郷土づくりに努め てまいります。

また、地方分権が進む中、議会の役割がますます重要になっていますので、さらに信頼される議会の実現に向け、議会改革に全力で取り組んでいきます。



昨年の大豆収穫作業の様子

## 過去に学び未来に活かす 坂下 栄一 議員(60歳 中沼行政区)

「人は歴史をつくり歴史もまた人をつくる」という言葉がありますが、これを思う時、町民一人ひとりが町の発展途上の一コマの中にあって、日々生活する姿が見えます。私も議会人の一人として、過去に学び未来に活かすを基本に努力してまいります。



元気いっぱいの孫、桜空(右)、星空(左)と

## 町民に将来を 坊屋舗 俊一 議員(62歳 中南行政区)

全国的に少子高齢化が進む中、雫石町も例外ではなく、将来が心配でなりません。産業建設常任 委員会では、後継者問題、独身者問題、経済の悪 化など山積した課題に町と議論し、課題解決に頑 張っているところです。

これからも子どもたちの文武両道を推進すると ともに、町民が安全・安心して暮らせるまちづく りのための議会活動を目指し、頑張りたいと思っ ています。



## 議会へのひとこと 皆さんの声を聞きました



智子さん 細川 (52歳・下春木場行政区)

## 町の代名詞となる 特産品を

近年、スポーツ、文化、芸能、畜 産等々いろいろな部門での全国大会 において優秀な成績を収め、雫石町 の名をアピールすることに大きく貢 献されている方々がおり、同じ町民 としては大変うれしく、誇りとさえ 思っています。

私が若い頃、技術研さんのために と関東から沖縄まで、会社の方針で 研修に出されたことがあります。そ の先々で受ける質問は「雫石はどん なところ、特産品は何ですか。」と 尋ねられることが多く、即答に困っ た記憶が残っています。今では、先 述した町民の方々の数々の活躍の他 にも、スキー場や温泉、小岩井農場 といった観光地があり町の紹介に困 る事はありませんが、特産品に関し ては今でも即答できるもの、名を挙 げられるものは一呼吸の間がありま す。雫石の代名詞となるようなもの が欲しいと思っています。

これからも、町民の皆様がいろい ろな分野で活躍され、活力のある雫石 町になることを期待致しております。



千賀子さん (47歳・極楽野行政区)

## 住んで、ますます 好きになる雫石

雫石町に転入してもうすぐ4年。 岩手山と美しい田畑や森が広がる風 景に憧れて住み始めましたが、住ん でみるとますます好きになることば かりです。

まず地域の方々の温かさ。運動会 や花見などの行事や日々の暮らしの 中でも、たくさん声をかけてもら い、助けられています。それから、 出かける時にお世話になっている 「あねっこバス」。これは多くの利用 者の足としてなくてはならない、よ いシステムだと思います。同乗した 方々と話の花が咲くことも多く、年 配の方々には、馬そりで木を切り出 した話など昔の雫石のようすを教え ていただくこともあります。単なる 交通機関以上の意味を持っていると 思います。

移住後、何人もの人に雫石に住み たいと言われました。漠然とした憧 れから、具体的に探している方まで さまざまですが、注目されているこ とを感じます。先日、町のサイトに 「空き家バンク」を見つけました。 充実を期待しています。



時子さん 廣瀬 (61歳・黒沢川行政区)

## 公約に沿った 議員活動を

議員の方々が、選挙の公約に掲げ たいくつかの項目、その公約の達成 度はどうなっているのか。議員になっ てから2~3年後に、一人一人の途 中経過を聞いてみたい。例えば、議 員定数削減の公約のように20名から 16名に決まったことなど伺いたい。 きめ細かい視点からの女性議員の活 動は、大いに期待しております。

個々の就労問題と、軽トラ市が休 む12月から翌年4月まで(商店街の イベントも含めて)の商店街の活性 化の面も考えどころ。選挙時の数日 間は声を大にして動いていたのに、 選挙後は町内で買い物をしたり、声 をかけて下さる議員の方がどれほど なのかも気になりますね。

町民のために、公約実現に向け最 善を尽くしてくださることを期待し ております。

# 故

## ふるさとへの便り―50



とよま ね 在京雫石町友会 会員 豊間根 としあき紀昭さん

私は昭和23年下駒木野行政区に6人兄弟 の5番目として生まれた (男2人女4人)。 幼少時代は心臓に疾患があり、小学4年生ま で運動禁止の身で体育の授業は見学してい た。その後自然治癒し中学からは野球を始め た。朝練で校庭の脇の田んぼに入り球拾いを して、田植え後の苗が痛むとよく地主さんに 叱られた思い出がある。

3年の時は強豪の大和投手率いる雫石中を 破り優勝した時はうれしかった。卒業後も野 球は続け、雫石クラブに入団し坂本監督(秋 田屋商店)、吉村(石材店)コーチの厳しい 指導を受けた。特に2週間もの夏合宿で精神 と肉体をきっちりと鍛えられたことが印象深 い。体力強化のため納豆に玉ねぎを刻んで入 れたものを食べさせられたこともある。また 早朝と夕方雫石小学校校庭での練習では右打 ち打法のため校舎のガラスを多く割って迷惑 をかけた。

大宮神社のお祭りでは青年団で踊りを踊っ た思い出もある。成長とともに都会への憧れ が目覚めた。自動車の整備をしていたので、 車に関連した仕事を目指し、父に頼み込んで 21歳の時に上京した。都会での生活は両国 田島病院に勤務し、しばらく都会の感触を確 かめた後、いったん帰郷し二種免許を取得し て再上京した。相模鉄道に入社してからは本 格的に将来を見据え仕事に集中した。運転手 としての自覚と安全運転に努め、無事故で優 良運転手として定年を迎えることができた。 これだけ頑張れたのは雫石クラブ時代の厳し い野球経験が生きていると思うし、28才の 時に巡り合った名古屋の銀行員だった妻と結 婚し家庭が安定したことも大きい(娘2人に 恵まれ現在は孫が2人いる)。

職業柄運動不足を補う意味もあり40歳か ら登山を始め、日本百名山の登頂を目指して 現在までに37の名山に登った。冬の八ヶ岳 で氷点下17℃を体験したときは命の危機を 感じた。肝心の岩手山には2度挑戦したが、 天候や同伴者等の事情で登れずにいる。三度 目の正直で今年は是非登頂してみたい。帰省 するたびに温かく迎えてくれる故郷は本当に 懐かしく感謝しているし、その自然を守り続 けている町民の皆様に敬意を表したい。



アンコールワットにて (前列右端が筆者)

子どもの日の家族写真





登山仲間と (前列左が筆者)

豊間根 紀昭さんプロフィール

昭和23年生まれ。

西根小学校—西山中学校—雫石自工—田島病院—相模鉄道(自動車部)

二俣川営業所・旭営業所で一貫して運転手として働く。

運転経歴は、①高速バス運転:横浜を起点として─徳山・高松・金沢・新潟・田沢湖・大阪へのコース、 ②貸切バス運転:スキー場・桜見物・紅葉など全国の観光地・温泉地を訪問、③横浜市内路線バス、等



お嫁さん



妻の彩さん、長男の凛くんと

ご縁があり、町外から迎えられた 「お婿さん」

哲さん(33歳 群馬県利根郡出身) (天戸行政区在住)

## Q- 雫石に来たきっかけは?

- 妻の実家があり、自然の中で子育てをしたいと思ったからです。 両親も迎 え入れてくれたので思い切って来ました。

## Q- 雫石町で暮らしてみていかがですか?

- 夏前に来たのですが、例年にない猛暑だったので、思いのほか暑くて驚き ました。秋の紅葉はとてもきれいで癒されました。運転中にクマに遭遇し た時はビックリしすぎて理解するのに時間がかかりました。

## Q- 町に望むことは?

- 子どもからお年寄りまで暮らしやすい町であってほしいです。

## 議会の主な動き 11~1月

## 11月

- 1日 福島県須賀川市議会広報視察来庁 盛岡市市政調査会研修会
- 2日 第48回雫石町総合芸術祭開幕式
- 4日 平成24年度軽トラック市閉会式
- 5~7日 産業建設常任委員会先進地視察
  - 6 日 雫石町·西和賀町議会議員交流会
  - 7日 静岡県磐田市議会行政視察来庁
  - 9日 平成24年度雫石町学校保健関 係者講演会
  - 13 日 県議長会第3回政務調査会
- 14~16 日 盛岡地区広域消防組合議会議員 視察研修
  - 14 日 第 56 回町村議会議長全国大会
  - 15 日 政務調査会
  - 16 日 第 10 回全国和牛能力共進会 報告会

- 18日 第18回町内継走大会
- 19~20 日 町村議会広報担当者研修会
  - 20日 議会改革第2小委員会
- 21~22 日 産業建設常任委員会
  - 25日 第7回町民ゲートボール大会
  - 27 日 町勢功労者祝賀会
  - 28 日 議会運営委員会

## 12月 -

- 1日 雫石町教育振興運動実践交流会
- 2日 歳末たすけあいチャリティー ショー
- 3日 平成24年度雫石スキーリゾー トエリア合同安全祈願祭
- 4日 議員全員協議会
- 7~14 日 12 月定例会
  - 25 日 雫石町交通指導隊懇談会

- 4日 新年交賀会
- 6日 平成25年交通指導隊初点検式、 消防出初式
- 10日 第4回雫石町教育研究会
- 11 日 広報特別委員会
- 13 日 雫石町成人式
- 15 日 政務調査会 総務常任委員会 教育民生常任委員会
- 17日 臨時議会
  - 広報特別委員会
- 20日 平成25年雫石町裸参り
- 22 日 雫石商工会新年交賀会

## **D議長交際費執行状況**

## 【議長交際費とは】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、 情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

## 【議長交際費内訳(10月~12月)】

	月		葬祭費	お祝い、会費							
	10	1件	20,000円	3件	16,000円						
	11	1件	20,000円	4件	15,500円						
	12	0件	-円	6件	30,000円						
	小計	0件	-円	26件	45,500円						
昇	計(1月~12月)	3件	60,000円	63件	233,980円						

## ■ 編集デスク

12月定例会は8日間の日程で開催され、議員発議として議員 定数を 20 から 16 へ 4 人減で条例改正をしました。次の一般選 挙から適用となります。定数が減っても町民の負託に十分に対応 すべく「住民と町議会との懇談会」を持つなど開かれた議会を掲 げ、情報発信しながら町民との距離を縮めたいものです。

議会広報はその一翼を担っているものと自負しており、政権も 一新され、新しい年を迎えたことから、新たな気持ちで町民と議 会が良好な関係になるようガンバリたいと思います。

(編集委員 岩持 清美)